



消防団だより

第 35 号

発行
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地
電話 (0545) 55 - 2852
E-mail : Fujishisyoboudan
@ex.city.fuji.shizuoka.jp

消防団長挨拶

これからの消防団活動

富士市消防団長 中村 秀明



日頃より地域の安全と安心のためにご尽力いただいている消防団員の皆様、そしてそのご家族の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

近年、自然災害が多発しており、消防団員の知識や技術がますます重要視されています。富士市消防団としても、様々な災害に対応できるよう、講習会や訓練を実施しています。

私たち消防団は、消防団員の増員を目指すと同時に、現消防団員の負担軽減にも取り組んでいます。このため、昨年から委員会を立ち上げ、将来に向けて持続可能な消防団を作るための具体的な施策をまとめています。

その一環として、特定の役割を担う機能別消防団員の増員を進めています。少人数でも消防団の活動を維持できる体制を整えるため、地域に詳しいシニアなどを地域密着型で受け入れ、予防広報活動などを強化していきます。

消防団の強みは初動対応にあります。社会情勢の変化に伴い、雇用形態の多様化も進んでいます。いつ起こるかわからない災害に備えるため、定年制の廃止や消防団拠点の統廃合も検討しています。

消防団員の皆様には、しっかりとスキルを磨き、地域のリーダーとして地域の皆様と協力し、災害に対応していただきたいと考えています。地域の皆様も、消防団員と共に地域の安全と安心を守っていきましょう。

結びに、市民の皆様と消防団員の皆様のご健勝とご多幸、そして益々のご活躍をお祈り申し上げます。

しょうぼうし 消防車のまちがいさがし

まちがいを5こみつけてね!



こたえは 11 ページ!

指導部

団本部の今後の役割

団本部 指導部員 加藤 一仁



今までの消防団活動は、操法大会主体の訓練、行事に対する所作をメインに学び火災現場で応用する流れの中で行ってきたと感じます。今後の消防団には、大規模災害への対応力が必要になります。そのため、新たに発足された分団指導員へのオールマイティな指導に力を注ぎ、更なる消防隊との連携した災害活動能力の向上、地域との密着した協力体制を強固にし、総合的な防災力、災害時への対応力の強化に努めたいです。今後も消防団の皆様にはより一層のご協力をお願いいたします。



総務部

私がラッパ隊員になって

第12分団 団員 小山 壮

私がラッパ隊に入隊し、半年が経ちました。優しく、ユーモラスに溢れた団員の方々に囲まれながら、和気藹々と活動しています。

入隊したきっかけは単純で、もともと音楽が好きで、学生時代は吹奏楽で金管楽器に携わっていた事もあり、ほぼほぼ興味本位で始めたようなものでした。楽器経験はありましたが、ラッパというのは初めての経験でした。限られた音階で絶妙なハーモニーを奏でる事が出来る楽器であり、知れば知るほど奥が深いものだと思えます。演奏をするたび、実感しています。

8月3日に「富士川夏祭り」が開催され、ラッパ隊の出演依頼があり、参加させて頂きました。今回の出演がラッパ隊としてのデビューの場となりましたが、ほどよい緊張感で演奏を楽しめました。また、地域の方々にラッパの演奏を楽しんでもらうと共にラッパ隊の活動を知っていただくきっかけになったのではないかと思います。

私達ラッパ隊はこの他にも、出初式や富士山女子駅伝の応援吹奏といった様々な行事に積極的に参加していき、ラッパ隊や消防団に少しでも興味を持っていただけるよう、演奏により一層磨きをかけていきます。



警防部

消防団の新しい訓練スタイル！
無線通信とアプリで迅速な情報伝達を実現

警防部長 小林 伴和



緊急時にデジタル無線機を使用した連絡を円滑に行えるよう、無線通信訓練を実施しました。今年は消防団アプリ導入後、初ということもあり、無線機とアプリを併用し、より実践的な訓練になりました。出場指令後、ポンプ車にて移動し、並行して無線通信、現場到着後にアプリにて画像を送信、私たち各部長、副部長は、消防防災庁舎の災害対策本部室でパソコン画面を見ながら指令を出す、というような訓練となりました。改善点、アプリの改良してもらいたい点も見え、有意義な訓練だったと思います。

大規模災害や風水害、火災等、いつ起こるかわかりません。そのような災害時に慌てることなく、情報伝達をスムーズに行えるようにするため、訓練を重ねていけたらと思います。

富士市女性消防団員連絡協議会

活動開始：令和2年～
在籍数：13名（令和6年11月現在）



日々の訓練・活動は
男性団員と共に地域で。



応急手当普及員の派遣



各種啓発事業への参加

富士市女性消防団員連絡協議会とは？

富士市では、女性団員も各分団に所属し、男性と共に活動しています。

当協議会は、主に「普段はそれぞれの分団で活動する女性団員が、協力して啓発事業に参加したり、情報共有する」ための組織です。



協議会としての啓発を通じて

会 長：大久保規子（第28分団 部長）

当協議会では、富士市消防団として初めての試みである「あつまれ！ちびっこ消防団」への参加協力をさせて頂きました。

イベント当日は、青空の下、沢山のご家族連れで賑わい「防災クイズ」を担当した私たちのテントもお客さんが途切れることがありませんでした。クイズに答えてくれたお子さんたちが、しっかりと学校で防災について教わっているのだなあと実感する場面が多かったです。中には、救命処置の仕方を動画などで見ていて、ご自宅でもやるんですよ、そんな男の子と話をしたりしました。

消防車を見たい、乗りたい、そんなことがきっかけでもいい。もっと消防団を知ってもらいたい、それが私の願いです。

自分たちの街を、自分たちで守れるように防災について、減災について一緒に考えてみませんか？



↑大久保会長。
今年度初開催の
「あつまれ！
ちびっこ消防団」にて。



↑今年度、新たに
「防火・防災クイズ」を作成！
問題文もデザインも
協議会委員作成！

協議会所属 女性団員 活動写真



女性団員も募集中！
一緒に活動しませんか？

お問合せは
消防総務課55-2852
消防団担当まで



実は・・・
消防団さにもやんは
当協議会の発案から誕生！
これからも「協議会」だからで
きることを生かした消防団活
動に取り組んで参ります。



第1方面隊

所属分団：第1・2・3・25分団 管轄地区：吉原・伝法・広見・青葉台
 消防車台数：5台 最寄り消防署：中央消防署・大淵分署

スマホとの共存

第1分団 班長 渡辺真一郎

スマホの所持率74%、中学生の統計です。学校に持ってきてはいけない、とされていますがこの数字では先生方もコントロールが難しいかもしれません。

ギガスクール構想によって小学生でも1人1台メディアを与えられ、実際の授業にも活用されています。スマホやタブレット自体が悪いのではなく、使い方によっては命を落とす元凶になりうる生活必需品です。使う側に問題があると解っていても、大人でさえスマホに支配されてしまう世の中です。

我が家でもスマホ問題は日常茶飯時です。宿題を済ませると静かにジーっとスマホやタブレットに正対しています。イヤホンまでしていると呼びかけにすら気づきません。今年から2人の子どもがそれぞれ習い事を始めました。きっかけは先輩やママ友からのお誘いでした。平日は週3回の練習、週末になると試合や練習試合で朝から夕方まで家に居ません。毎回は帯同できませんが月1回位で車出しをします。ある時習い事をしている間、子ども達はスマホを使うタイミングが一切ないことに気が付きました。あたりまえかもしれませんがスマホから子どもたちを離す単純な手法でした。

消防団活動にもアプリによる団員管理システムが導入されました。使い慣れれば提出書類の削減や事務処理の負担軽減になります。現場ではまだまだ時間がかかるように思えます。負担を軽くするための負担増にならないよう適材適所の配属やアプリの整備を期待します。



第1方面隊 新入団員



第2分団 市川 真未



第3分団 山田 健太



第25分団 小林 昭二

消防団員となること

第3分団 団員 山田 健太

私は2023年末に消防団に入団しました。

私が消防団に入団しようとしたきっかけは、大学の先輩からのすすめでした。先輩達は二人とも沼津や伊豆など、地元の消防団に入っている人達です。その先輩達と飲んでいる時に「山田は消防団に入った方がいい」と言われ、そこで気になり消防団について調べ、興味を持ったのがきっかけです。

また、これは今思い出したのですが、私の幼稚園児の頃の夢は、消防士になることでした。というのも、当時戦隊ヒーローで救急戦隊ゴーゴーファイブという番組が放送されていました。そのヒーローは救急がテーマで、メンバーに消防士や警察官、救急隊員などがいました。幼稚園児だった私はそれを見て、消防士に憧れたことを覚えています。

もちろん消防士と消防団員とは違いますが、消火活動に関わる者として、あの頃の夢が少し叶ったのかもしれないという気持ちです。



第2方面隊

所属分団：第4・5・6・7・12分団 管轄地区：今泉・原田・富士見台・神戸・青葉台・大淵 消防車台数：5台 最寄り消防署：中央消防署、富士見台分署、大淵分署

ラッパ隊活動

第4分団 団員 会田 亮太

私は8年程前から消防団第4分団に所属しています。

今の住まいに引っ越して来た直後に出席した町内の運動会にて、町内会の方よりお誘いを受けて消防団に入団する事になりました。

引っ越してきたばかりで、周囲に知り合いもいない時に消防団に所属した事で、近所で会おうと声を掛けてくれる方も増え、近所の方たちとの繋がりを消防団のおかげで築くことができました。

そんな中、消防団として初めて出席した出初式で、初めて見たラッパ隊の姿がとても格好よく、ぜひ自分もラッパ隊に入りたいと志願しました。

楽器の経験は全くなく、毎週行われる練習に参加できない事も多々ある

中、出初式や、以前でしたら富士祭り、近年では年末の富士山女子駅伝の応援演奏などを目標に練習をしています。

今年からはパーカッション(太鼓)に挑戦する事になりました。

子供の頃から地域の祭りなどで和太鼓を演奏していたので、以前から興味がありチャレンジしてみる事にしましたが、大きな意味では太鼓ですが和太鼓とは全くの別物なのでスティック(和太鼓で言うバチ)の使い方から勉強しています。

本番でパーカッションを演奏する事を目指し今後も練習を重ねていきたいです。



第2方面隊 新入団員



第4分団 朝日 皇



第6分団 佐藤 圭



第7分団 関崎 佳宏



第7分団 中村 天一

富士市消防団に入団して

第6分団 団員 佐藤 圭

私が消防団に入団した理由は大きく二つあります。

1つ目は個人としてのスキル、知識を消防団活動を通して上げることができると感じたからです。例えば消防団活動で大事な消火活動では、消火栓の取り扱い、自然水利の際の可搬ポンプの取り扱い、効率的な消火方法など、入団して間もないですが、活動中多くの知識を学ぶことができました。私には妻と子供2人がいて、守る大事な家族がいます。消防団活動を通して学んだことはきっと家族たちを守る力になると思います。

2つ目は自分が生まれてから31年住んでいる富士市、身近な地域への恩返しをしたいと思ったことでした。余談ですが、私の実家は市内で会社を営わせていただいております。私の父親が先代となり、父亡き後の十数年前、母親が会社を引き継ぎ経営しております。いずれは私が会社経営をしていくつもりです。

私は昨年、長年勤めていた修行先の企業を退社し、実家の会社に戻ってきましたが、戻ってきたときに感じたことは「普段よく目にするけど自分たちのよく知らない会社って怖いな」逆に「自分の友人が務めている会社って何故か知らない信頼感があるよな。」こんなことを感じるがありました。

「私の実家の会社も地域の方々から前者のように思われていないだろうか」

もしそのように思われているようだったら30年以上、この地域で商いをさせていただいてるのに地域の皆様に申し訳ない。変えなくては！という思いから地域密着性の高い消防団活動に参加させていただきました。実際に入ってみて入団当初心配していた人間関係の不安感や消防団活動の大変さは感じることもなく、先輩方が優しく丁寧に指導してくれたり、普段から分団長が実家に寄って下さり採れたての野菜をおすそ分けいただいたりと、地域のための恩返しのもりで入団させていただきましたが、私はまだまだ恩をいただいている最中でいます。

まだ入団したてで恩返しのできるような立派な消防団員にはなれていませんが、今後の消防団活動を通して周りの方に恩返しのできるような立派な消防団員になりたいと思います。



第3方面隊

所属分団：第8・9・10・11分団 管轄地区：吉永・須津・浮島・元吉原・吉永北
 消防車台数：4台 最寄り消防署：吉永分署、臨港分署

須津湖ボート訓練実施

第9分団 班長 北角 彬
 班長 飯島 正道

我々9分団のエリアでは、台風や大雨の時、氾濫する場所、道路冠水するような危険な場所が多く、今回配備されたボートにて活動範囲も広がった面でしっかりとした運用方法を学ぶ事が大切となります。

訓練を実際行い、イメージとは違い、重量、操作性、胴長着用にて水の中での行動の難しさを痛感しました。

今後も本署の方の経験談や合同訓練等を通じ地域の消防団活動に活かせればと思っております。



第3方面隊 新入団員



第8分団 佐々木健斗



第8分団 浅田 赳彦



第9分団 大木 麻衣



第9分団 渡邊 拓馬

消防団に入団した理由

第8分団 団員 佐々木健斗

私が消防団に入団を決めたのは、地元の同級生、3人もが消防団で活躍していることを知ったこと、そして生まれたこの富士の街を守りたい、恩返しをしようと思ったからです。

私は、10年程都内で働いていたのですが、昨年より地元富士市を中心に働いております。富士で出逢うお客様は郷土愛に満ちており、この街が本当に好きな方が多いです。一度地元を出ていた私は改めてこの街の素晴らしさを実感し、何か恩返しが出来ないか考えておりました。

そんな折、同級生の活躍を知り、自分も地元の方々が少しでも安心して暮らしていけるよう、備えることが私の使命であると感じました。

いち早く戦力になれるよう邁進していきます！



第4方面隊

所属分団：第13・14・15・19・20分団
富士北・岩松・岩松北 消防車台数：5台

管轄地区：富士駅北1・2・
最寄り消防署：西消防署

旗 師

第20分団 指導員 鈴木 洸裕

私は今、よさこいチーム「輝獅童」で大旗を六年前から振っています。

最初は振り方も分からず旗の見せ方も理解せずに大変な思いをしました。今では同じ大旗の仲間や師匠もでき、旗の振り方の細部まで気を付け以前より自信をもって振れるようになりました。

これからも色々なイベントで振る機会があります。

お時間があればぜひ見に来てください。



第4方面隊 新入団員



第14分団 植松 光徳



第19分団 澤村 研太



第20分団 町田 安久

新入団員としての意気込み

第14分団 団員 植松 光徳

家族が消防団に所属していたため、以前から消防団が身近に感じており是非入団をしてみたいと思っていました。新入団員訓練では「規律訓練」や「ポンプ車の基礎知識」などを学び大変勉強になりました。

これからは、訓練を重ね・技術を磨き、諸先輩方と協力しながら地域の安全を守るため消防団活動に全力で取り組んでいきたいと思っています。

第5方面隊

所属分団：第16・17・18・26分団 管轄地区：富士駅南・田子浦・富士南
 消防車台数：4台 最寄り消防署：南分署

あつまれ!ちびっこ消防団

場所:田子の浦みなと公園

第17分団 団員 吉永 泰久

先日、田子の浦みなと公園でこのイベントが開催されました。

正直、こんなに子供たちが来てくれるとは期待していませんでしたが、そんな心配はいらなかったようです。

たくさんの親子連れが来て下さり、車両乗車や記念撮影、放水、心肺蘇生法なども経験していました。本当に興味があって来てくれていると思うと嬉しく思えました。

また、入団希望の方がいらっしゃったと聞き、このイベントは大成功だったのではないのでしょうか。

参加してくれたちびっこ達が大きくなって、消防団のバトンタッチが出来たら嬉しいです。



第5方面隊 新入団員



第17分団 田島 賢

自分は50歳で消防団員になることに決めました。きっかけは地域で消防団員を募集しているのを知り、今まで地域のためになにもしてこれなかったので50歳という年齢ですが、受け入れてもらえるのならやってみようと思ったからです。

職場の何十年も団員をやっている方に紹介してもらい、入団することになりました。分団員のみなさんは優しく迎えてくださり、入りやすく、人の温かさを感じる事が出来ました。

これからは色々な行事や訓練に参加し、しっかり消防団としての役目がはたせるように努力していきたいと思います。



第18分団 齊藤 章

私が18分団に入団させていただいたきっかけは、自分の両親、兄が地域の為に貢献しており、自分も何か出来ることはないかと思った為です。

兄が消防団に入団していた為、私も18分団に入団しました。初めは、消防団とは何をするのかわからず不安でしたが、入団後、先輩たちがいろいろ指導して下さい、良い先輩たちでよかったと思いました。今後も訓練など多くを学び、少しでも地域に貢献したいと思っています。



第18分団 梅本 空飛

私は18分団で知人の紹介をうけ、消防団に入りました。

入った当初は規律すら分からず、訓練などはもってのほかでした。

ですが、18分団の方々に手取り足取り教えていただき、訓練などにも少しずつ慣れてきました。

これからも18分団の方々と一緒に、訓練などで色々なことを学び、もっと地域に貢献できるよう頑張りたいです。

第6方面隊

所属分団：第21・22・23・24分団 管轄地区：鷹岡・天間・丘
消防車台数：4台 最寄り消防署：鷹岡分署

方面隊合同放水訓練

第22分団 班長 坂本 光俊

9月25日、第6方面隊合同放水訓練を行いました。

放水訓練は実際の火災において、スムーズに消火活動が出来るように様々な状況を想定して行います。

今回のメインは21分団と24分団、22分団と23分団、それぞれペアになった、小型ポンプからポンプ車への中継です。

これは水利の場所が狭い空間であることを想定しています。

ポンプ車からの第一線による放水に加え、分岐からの第二線による放水も行い、より実践に沿った放水訓練が出来たのではないかと思います。



第6方面隊 新入団員



第21分団 矢部 邦明 第23分団 千野 真弥 第23分団 久能 広樹 第23分団 内野 智之 第24分団 久高 悠雅 第24分団 近藤 剛

新入団員の抱負

第21分団 矢部 邦明

消防団活動は以前から興味があり、自分も地域貢献できることをやってみたいという思いがあり、家族とも相談し富士市の消防団員募集フォームへ応募させていただきました。

応募した後に分団詰所へ訪問し、初めて会う見ず知らずの私をすぐに仲間として受け入れてくださいました。また、各種訓練において、親切、丁寧に資器材や機械類について教えていただいております。目の色を変えて訓練している先輩たちの姿はカッコよく、尊敬しています。分団長はじめ、団員の皆様には感謝しかありません。

私も一歩ずつですが、資器材や機械類を覚え、富士市の地域防災に少しでも貢献できる人材にいち早くなれたらと思います、日々努力していきます！



第7方面隊

所属分団：第27・28・29・30・31分団 管轄地区：中之郷・岩淵・木島・南松野・北松野 消防車台数：5台 最寄り消防署：富士川分署

ふじかわ夏まつり

第29分団 分団長 常盤 浩樹

今年もふじかわ夏まつりが盛大に開催されました。

我々消防団は祭りの一番の目玉である花火大会を安全に開催できるようにサポートし、万一の時には速やかに消火活動できるように待機しています。例年は富士川の水をポンプでくみ上げ、消防車4台中継して放水準備をしてました。

しかし、富士川の地形は毎年変化し、吸水状態も大変困難になってきました。昨年はクレーン車で小型ポンプを10メートル崖下まで降ろすほど大掛かりになってました。そこで今年は東町公園から吸水し消防車3台中継することになりました。

消火活動に伴う消防車の台数が削減できたことにより、我々29分団は車両展示のイベントをすることになりました。しかし消防車を展示するだけではつまらないし、確保プロジェクト委員も一緒に広報活動するというので分団員に意見を求めました。すると楽しそうな意見が沢山でてきました。

消防車の歌があるから流そうよ、

消防車に乗ってもらって記念写真撮ろうよ、

背負い式放水銃で子供たちに水出し体験してもらおう、

的を倒して達成感を味わってもらおうよ。

写真がこれらの様子です。イベント開始時間から早速人気で花火打ち上げの直前まで子供たちで賑わってました。

放水銃を初めて触る子供たちも団員の手助けにより、一生懸命

的の炎を倒そうと頑張っていました。

中にはそれにも飽き足らず団員に向かって放水しまくっている子もいました。そんな訳で用意してきた5個の満タンのポリタンクもすぐに空になり、団員たちは何回も給水作業に追われて忙しそうでした。

また、子供たちが興味をもってくれそうな的を作るためにイラストを考えたり、倒れやすくするにはどうしたら良いか、防水性や組立てやすさ等を考えたりしながら夏祭りに間に合うように頑張って作り上げました。まだまだ改良点はありますが、初回での出来は良かったと思います。イベントの最中でも地元の祭りでありたいから貸してもらえませんかという問い合わせも沢山頂きました。とてもうれしい限りです。

今回のイベントで消防車や消防団員を身近に感じて頂けたら市民の皆さまも良かったと思いますし、来年も ふじかわ夏まつりで放水銃をやりたいと楽しみにしてくれることを願います。



第7方面隊 新入団員



第27分団 久保田 暉



第27分団 渡邊 颯哉



第28分団 望月 陽斗



第28分団 四條 和真



第28分団 時田 知季



第28分団 田中 秀幸



第29分団 齋賀 宝道



第30分団 雨宮 翼



第31分団 田上 勝也

新入団員としての決意

第28分団 四條 和真

私が消防団に入団したきっかけは、中学の同級生とそのお父さん、お母さんからの誘いからでした。

私の目標は「富士市を活気あふれる街にすること」です。

私は神奈川県に大学に進学したため、4年間富士市を離れていたのですが、富士市に帰ってきてから運転代行とポスティングの自営業を立ち上げ、地域に密接に関わることの多い業種故に、「何か自分たちの会社で地域貢献できることはないか」と考えており、その矢先だったのもあり私はすぐに入団を決めました。

今回私たちの会社から自分も含めて4人の若者が28分団に入団すると同時に長年問題になっている少子高齢化のせ

いなのか、若者が本当に少なくなってきた話を聞き、とても他人事のように思えませんでした。

何故なら、私の目標には高齢者の方ももちろん若者の力が必要不可欠だからです。

今のこの状況を変えていくには、今いる若者が率先して地域貢献やボランティア活動、起業など、勇気を持って一歩踏み出すことがとても重要なことだと思います。

難しいのであればまず私が見本になります。

私は持てる力、会社、行動で地域全体を変えていき、そんな仲間たちと切磋琢磨し合って富士市を活気あふれる街にします。



表紙の答え&消防車の紹介

まちがいは①～⑤でした！いくつ見つけれられたかな？



【こうぶボックス】

こがたのかはんしき
ポンプやはつでんき、
チェーンソーがはいっている

【むはんどろノズル】

ホースのせんたんにつけて
ほうすいするどうぐ

【サイドボックス】

ホースやしきざいが
はいっている



【きゅうかん】

みずをすうためのじょうぶなホース
せんたんのきいろいぶぶんは「じゃこご」
といい、ごみをすわないようにしている

【ほうすいこう】

きゅうかんですったみずをだすところ
はんたいがわにもあり、ぜんぶで4かしょ
1ぶんかんで1400リットルいじょうほうす
いできる(おうちのおふろは200リットル)

【のれるにんずう】

しゃない6にん、
そとに2にん
ぜんぶで8にんのり



活動紹介



▼ 安全祈願祭



▼ 住宅フェスティバル



▼ 完成報告会



▼ 新入団員教育



▼ あつまれ！ちびっこ消防団



▼ 消防まつり



▼ ふじBousai



さもにゃん消防団に体験入団！

さもにゃん
富士市消防団に体験入団！

「消防団員は非常勤の地方公務員で普段は自分の仕事をして、災害があったときに駆けつける方が多い。その影のヒーローみたいだよ!!」

今回は富士市消防団に体験入団に来たにゃ

1

活動内容としては消防署と一緒に消火活動をしたり火災多発期の特別警戒や応急救護をはじめとした各種防災訓練の指導など！強制参加ではないので安心してほしいにゃ！

自然災害の際の危険箇所の警戒や住民の避難誘導

2

年額報酬
年額報酬は、年間の基本給！
入団時の階級で36,500円
(階級：団員)

出勤報酬
出勤報酬は、火災現場や訓練など、消防団活動に応じて支給！
例：火災現場2時間につき2,000円など

報酬もあるにゃ！報酬は2種類で報酬は全て個人の口座へ支給されるにゃ

3

月一回の定例会をはじめ活動も様々にゃ！

4

消防団員募集

近年は少子化やサラリーマンの増加により入団者は年々減少傾向に...

地域の安全を守り、安心して暮らせる生活のためには、消防団員の力が必要にゃ！入団を待っているにゃ！

詳しくはこちら！

富士市消防団員

5

このSNSから入団申請も可能です。



FUJISHISYOBUDAN

富士市消防団協力事業所の紹介

令和7年1月1日現在

1	トラック株式会社	16	静岡日野自動車株式会社 富士営業所	31	株式会社 イチエイ	46	認定こども園曙幼稚園
2	株式会社三和工務店	17	シンセア環境サービス株式会社	32	有限会社 三浦電気	47	株式会社 仲神設備
3	株式会社佐野商事	18	有限会社 大塚技研 第2工場	33	有限会社 秋山配管工業所	48	さとう産業株式会社
4	平松建築	19	有限会社 飯田電設	34	松本工業株式会社	49	ふじさんおおぞら株式会社
5	深沢消防産業株式会社	20	株式会社 西尾組	35	junprogresso(ジュンプログレッシブ)	50	土屋工業株式会社
6	株式会社 川嶋組	21	株式会社 佐野総業	36	株式会社 YOSHIKAN	51	有限会社エミネント
7	影山モータース	22	遠藤建設株式会社	37	ナーセリーイデ	52	富士伊豆農業協同組合 富士地区本部
8	田中畳工業	23	株式会社 富士の国 渡邊農園	38	佐野文彦(不動産業)	53	株式会社藤島組
9	合資会社 堀野紙工	24	サンコー防災株式会社	39	有限会社 佐野自動車工業	54	陽和
10	有限会社 増田製袋	25	税理士法人 IBS 富士事務所	40	株式会社伊藤電気	55	(有)鈴国
11	三晃堂鍼灸治療院	26	株式会社 加々美	41	株式会社一商会	56	矢島ワールド
12	株式会社 大善工務店	27	株式会社 司技研	42	有限会社 アカイケ家電	57	佐野 晶彦
13	有限会社 池田自動車工業	28	有限会社 ヤザキ総合エクステリア	43	富士信用金庫		
14	山本土建	29	株式会社 プレーン	44	大久保電気工事		
15	桑原左官工業	30	和田建設株式会社	45	株式会社 翔栄電工		

編集後記

消防団だよりを発行するにあたり、団員及び、団員ご家族様、また関係団体の方々には多数の寄稿をいただき厚く御礼申し上げます。そして日頃の消防団活動に対し、多大なご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして感謝申し上げます。

我々富士市消防団員は、自信と誇りを強く持ち、団員各位の意識高揚とさらなる団結心を養い、これからも日々の訓練に励み多様化する災害に対し、迅速かつ適切に対処できる知識と技術の習得に努めて参ります。

結びに日頃の消防団活動を多くの人に広く知って頂くために様々なPR活動を行っている中で、消防団に少しでも興味を持ってもらいたいと思っております。

そしてこの消防団だよりが団員確保に向けた取り組みに繋がることが出来たら幸いです。

今後も温かいご支援ご協力の程よろしく願いいたします。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

団本部	副 団 長	稲葉 朗宏
団本部	総務部長	杉尾 雄司
団本部	副総務部長	天野 貴之
第1方面隊 第25分団	係 長	鈴木 信一
第2方面隊 第4分団	団 員	佐野 正明
第3方面隊 第8分団	団 員	中西幸一郎
第3方面隊 第9分団	団 員	高橋 歳子
第4方面隊 第13分団	係 長	杉山 文香
第5方面隊 第26分団	班 長	福島耕一郎
第6方面隊 第24分団	係 長	鈴木 智亮
第7方面隊 第30分団	班 長	渡辺 洋史
		佐野 和也